



図書だより

6月号
2008. 5.30

北九州市立広徳小学校
校長 守田 孝子
図書ボランティア よんでライオン



今月は、教務主任の泉先生に小学生時代の読書についてお話をしました。

今までの人生の中で一番本を読んだのは、高校生の頃でした。歴史小説やSF小説にはまって多読していました。でも、小学生の頃は外で遊ぶことに夢中で、読書とは縁遠い生活だったように思います。そんなわたしですが、小学生のころ＝本と聞かれて一番に思い浮かぶのが「海底二万里」です。強烈な印象を受けたので、表紙の絵を鮮明に思い出することができます。(話の内容は、すっかり忘れてしまっていますが・・・)

この原稿を書くために「海底二万里」についてちょっと調べてみました。ネロ船長、ノーチラス号、大ダコとの戦い……そうだ、そうだったと忘れてしまっていた記憶が次々によみがえってきました。同じ作者(ジュール・ヴェルヌ)の「十五少年漂流記」「八十日間世界一周」も夢中になり読んだことも思い出しました。

さらに、何と自分で気が付いていなかった自分を発見してしまいました。実は、わたしは、小学校の卒業文集に「将来の夢は、大きな船の船長になり、世界一周をしたい」と書いています。また、中学生のときも高等商船に進学したいな(結局は受験しませんでした)と漠然と考えていました。その理由として、単に海がすぎだからだとずっと思っていました。でも、それだけではなかったのです。小学生の時に読んだこの「海底二万里」「十五少年漂流記」に大きな影響を受けたことが、今回はっきりわかりました。40年ぶりの自分自身の再発見に『すっきり』した気分と一少年の将来の夢に影響を与えたジュール・ヴェルヌのすごさを改めて感じます。

読書は、知的好奇心を満たしてくれるとともに心を豊かにしてくれます。時には、自分の夢や生き方の参考にもなります。みなさん、たくさん本を読みましょ。



(泉 俊治)

今月の読み聞かせは・・・

6月6日(金)、20日(金)

昼休み(13:20～)

1棟(職員室側)3F 生活科室

保護者の方で、興味のある方も、是非見学にお越し下さい。



5月の読書カレンダーは、ご活用頂けましたか？色塗りをした読書カレンダーは、6月10日までに職員室前の回収ボックスに入れるか、担任の先生に提出するようお子様に伝えて下さい。また、名前の記入漏れがないか確認をお願いします。

6月の読書カレンダーも本日、配布しました。家庭での10分間読書の取り組みに、是非ご活用下さい。

図書だよりが広徳小学校のホームページに掲載されています。是非、カラー版もご覧下さい。
http://www.kita9.ed.jp/koutoku-e/tosyo_volunteer/index/tosyo_volunteer.index.htm

昼休みの読み聞かせ



読み聞かせの終わった後、1年2組の女の子がお部屋を出る時に声を掛けてくれました。

「お話、とても楽しかったです。また読んでください。」

その言葉を聞いて、『よんでライオン』一同、感激☆これからも頑張ります！

5月に読み聞かせを行った本

[参加児童数:約60名]

5月 9日(金)

- ①【紙芝居】しんかんせんははやい(中川ひろたか/脚本、和歌山 静子/絵)
- ②はまのくれよん(長 新太/作・絵)
- ③【大型絵本】そらまめくんのベッド (なかや みわ /作・絵)

5月23日(金)

[参加児童数:約90名]

- ①キャベツくん(長 新太/作・絵)
- ②アリからみると(桑原 隆一/作、栗林 慧/写真)
- ③オオカミだー(ステファニー・ブレイク/作・絵、ふしみみさを/訳)

今年度もお昼休みの読み聞かせを始めました。(月2回、金曜日)

5月9日は1年生にとっては、初めての読み聞かせ。給食を頑張って早く食べて駆け足でやって来る子。生活科室の場所が分からず、迷ってしまった子……。でも、じっと絵本を見入ったり、隣に座った子と顔を見合わせて笑ったりする姿が微笑ましく、とても嬉しい気持ちになりました。

図書室の本の中には、残念ながら、痛んでいる本も多く見られます。本も形あるものですから、いつかは壊れたり、破れたりしてしまうのは当然です。でも、どれも広徳小のみんなの大切な本。大事に扱って、本の楽しさをたくさん子ども達に共有してもらいたいものです。

そこで、「よんでライオン」のお母さん達は、図書の「全面ラミネート」の方法を専門の方に教えて頂きました。大切な本を汚れや破損から守り、少しでも長持ちするようにラミネートフィルムをかけていきます。これからも、本を大切に扱って下さいね。

図書のフィルム貼り



「読み聞かせ」の出張

小学校の近くに「光楽園」という託児所(小さい子どもを預かってもらう保育所)があります。



「よんでライオン」のお母さん達は、光楽園の園長さんに招いて頂き、小さな子ども達に絵本や紙芝居を紹介したり、パネルシアターやペープサートを披露したりしてきました。

2、3歳くらいの小さな子ども達。でも、あと数年すれば、みんなと同じ小学生。絵本やお話の好きな子になってもらえるとうれしいです……。

5月29日、「わくわくブックフェスティバルin広徳小」と題し本屋さんの出前!?

図書室の本は、これまで先生方が本屋さんへ足を運んで選んで下さっていましたが、今年は初めて、子ども達からリクエストを取り、希望の多い本を購入することになりました。体育館に約1000種もの図書を搬入し、子ども達一人ひとりが、手にとって気に入った本にリクエストの短冊を挟んでいきました。

投票結果は後日、校長室前と図書室に掲示します。また、広徳小のホームページでもお知らせします。



ブックフェスティバルで紹介した本

- | | |
|-----|-------------------------------|
| 低学年 | ①ちいさなくも(エリック・カール/作・絵、もりひさし/訳) |
| 中学年 | ②へびくんだうなつたとおもう?(みやにしたつや/作・絵) |
| 高学年 | ①給食番長(よしながこうたく/作・絵) |
| | ②飼育係長(よしながこうたく/作・絵) |
| | ①ハッピーノート(草野たき/作、ともこエヴァーソン/画) |
| | ②西の魔女が死んだ(梨木香歩/作) |